

神社関係者各位

「神社のお祭り」 についてのお願い

～新型コロナウイルス感染拡大予防のために～

日頃より神社の護持運営にご協力頂き誠にありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症の終息が見込めない状況に鑑み、今後の「お祭り」における留意事項を作成しましたので、感染拡大予防のためにご協力賜りますようお願い申し上げます。

なお、「お祭り」にあたっては、必ず当該神社の宮司にご相談ください。

お祭りは主に「^{さいかい}齋戒」「^{さいてん}祭典」「^{なおらい}直会」「^{しんしんぎょうじ}神賑行事」
などで構成されます。

^{さい}
齋

^{かい}
戒

奉仕する神職は祭典前に飲食を慎み、沐浴・禊などで心身を清める。

^{さい}
祭

^{てん}
典

御神前に神饌をお供えし、祝詞を奏上し拝礼すること。神事・祭儀。

^{なお}
直

^{らい}
会

祭典終了に際し、神饌を参列者が共にいただくことにより、神様の恩頼(みたまのふゆ)(恩恵・お力)を頂戴する儀式(神人共食)。
直会までが祭典。

^{しんしんぎょうじ}
神賑行事

神賑わい。神様の御心をお慰めし、感謝の心を形にする賑わい神事。
神輿、獅子舞、曳山、屋台、神楽、雅楽、舞、奉納諸行事など。

新型コロナウイルス感染拡大予防として

さい
祭

てん
典

中止・延期にはしません。**神職が必ず奉仕します。**

- ・参列は、三つの密を避けて、なるべく少ない人数でお願いします。
例) 役員・総代のみ、宮委員のみ など
- ・お互いの距離が1～2mとれるようにします。
目安) 拝殿の畳1枚につき1人(10畳の拝殿に10人) など
- ・祭典中、持参したマスクを着用されていても構いません。
- ・止むを得ず神職のみでの奉仕の場合も、神饌などの諸準備は例年同様をお願いします。
- ・体調がすぐれない場合は参列をお控えください。

なお
直

らい
会

なるべく簡略化して行います。

- ・御神酒を盃で戴く程度にし、大皿料理や大盃を廻すことなどは行わないなど、なるべく簡略化していただきますようお願いします。
例) かまぼこ等袋詰めされている物や、小瓶のお酒などを準備し、自宅で直会をしていただく。

しんしんぎょうじ
神賑行事

感染状況を十分に考慮し、下記の場合は**中止・延期を検討**して頂きますようお願いします。

- ・いわゆる三密が避けられない行事。
- ・見学者など大勢の参加が見込まれる行事。

従来の形を変えて実施することも考えられます。

例) 獅子舞の場合

- ・祭典に合わせて、獅子頭を神社の御神前に供える。
- ・獅子頭と道中太鼓のみで町内を練り歩く。(家には入らない/声を出さない)

例) 神輿渡御

- ・神輿ではなくからひつ唐櫃などを活用し、少人数での渡御など。
- ・区や町ごとに広い場所でお旅所・祈願所を設える。

※いずれにしても当該神社の宮司に予めご相談ください。

「お祭り」の規模は縮小しても、
「祭典」を中止する必要はありません。

お祭りの最も大切なことは、「地域の安寧を感謝し、地域の災厄除けを神々に祈ること(=神事)」です。

新型コロナウイルスへの感染に注意しつつ、伝統の祭儀が滞ることなく執り行われますよう十分なご配慮を賜りますようお願いいたします。

来年のお祭りは笑顔であふれ、より盛大に執り行うためにも、関係各位のご理解とご協力を衷心よりお願い申し上げます。

令和2年7月：作成

富山県神社庁